



## Contents

---

### 01 プロジェクト最前線

#### **蓄電池ビジネスを支えるインテグレーター 独 Younicos、大型プロジェクトを次々契約**

ドイツの蓄電池インテグレーターである Younicos は、電力会社や系統運用者向けの大型蓄電池プロジェクトを次々と契約し、高い伸びを示している。好調の秘訣は顧客のニーズを把握して、柔軟性高いソリューションを提案することだ。

### 02 トренд解説

#### **リチウムイオン蓄電池セルの増産が活発化 強気の韓国勢、台風の目になる中国勢**

リチウムイオン蓄電池セルメーカーの増産計画が相次いでいる。各社とも、まずは EV 向けにセル工場を新設。受注状況に応じて一部を振り向ける戦略をとることで、量産規模を確保し、低コスト化と性能向上を図っている。

### 03 注目のニュース

仮想発電所ベンチャーの英 Upside Energy が総額 550 万ポンド調達  
米 Georgia Power、太陽光や蓄電池を装備したスマコミをアトランタで開発  
サウジ ACWA Power、太陽光発電で仮想通貨「SolarCoin」を採用  
豪ニューサウスウェールズ大、電力の 100%を太陽光で調達へ  
UAE・Masdar がマスタードールシティの新モビリティ構想を発表、など

### 04 ニュース解説

米 PG&E、1.3 億ドル投じ充電器 7500 基を整備  
オフグリッド太陽光、ナイジェリアで急成長へ

## 蓄電池ビジネスを支えるインテグレーター 独 Younicos、大型プロジェクトを次々契約

欧米のエネルギー市場で、蓄電池を活用したビジネスが活発化してきた。太陽光発電システムや風力発電などの再生可能エネルギーの導入が拡大してきたことから、電力網の不安定化を解決し、需要家のエネルギーコストを下げる切り札として商用レベルでの導入が相次いできたためである。

蓄電池システムを採用するのは、送電網に系統連系する大型用途では電力事業者、C&I（商業・工業）施設や家庭などの小型用途では需要家である。そうした蓄電池ユーザー向けに、蓄電池を含めたエネルギー機器やソフトウェアを提供し経済メリットが生まれるようにシステムを組む蓄電池インテグレーターが登場し、普及を後押ししている。

ドイツ・ベルリンに本社を持ち、2005年に創立したYunicosは、欧州と米国市場を中心に蓄電池システムのインテグレーターとして、電力事業者や需要家による各種蓄電池の導入をサポートしてきた。「2016年に75MW分

の契約を締結し、2015年比で400%の伸びを示した」と同社SpokesmanのPhilip Alexander Hiersemenzel氏(図1)は語る。2017年も2016年とほぼ同様の契約規模となったという。

### 技術センターで蓄電池システムを検証

Hiersemenzel氏によると、成長の秘訣は蓄電池を使う顧客や系統運用者のニーズを把握して、柔軟性高いソリューションを提案することだという。

そのために同社は、ベルリンと米国オースティンに技術センターを開設している(図2)。各種の蓄電池を設置すると共に、再エネやディーゼル発電との併設や系統連系をシミュレーションできる設備を整えて、顧客が実際に蓄電池システムを導入することによりどのような効果が得られるかの検証データを提供している。

同社がこうした各種の実験やシミュレーション設備の設置に力を入れる背景には、蓄電



[図1] Philip Alexander Hiersemenzel氏(撮影:日経BP 総研クリーンテック研究所)



[図2] ベルリン本社内に設置された技術センター外観(撮影:日経BP 総研クリーンテック研究所)